

筑後川本格改修100周年 ロゴマーク作成プロジェクト

令和3年10月28日
筑後川河川事務所

令和5年に筑後川の本格的な河川改修（内務省筑後川改修事務所開設第三期改修工事着手）が始まって100周年を迎えます。この100周年を多くの方々に知って頂くため、インダストリアルデザインを学んでいる九州大学芸術工学部の学生の皆さん（工業設計学科2年生及び修士学生約40名）とともに100周年記念ロゴマークを作成することとしました。

ロゴマーク検討をテーマとした授業では、学生自らが「何をどう伝えることで人々の関心を筑後川に向けることができるのか」を考え、流域住民の方々との交流も図りながら、案の作成を進めて頂きました。

●令和2年11月26日（木） 筑後川レクチャー IN 九州大学

座学にて、筑後川流域の範囲や位置、水害や河川改修の歴史、現在の水利用、景観など、流域と河川の概要について学びました。



●令和2年12月13日（日） 筑後川フィールドワーク

筑後川上流の日田から下流の大川まで、河川沿いの土地利用や風景、流域の空間を五感で学びました。

行程：日田・三隈川～山田堰～原鶴地区～寺内ダム～久留米・水天宮～大川・昇開橋



●令和3年1月7日（木）筑後川流域住民との意見交換会 IN 九州大学

筑後川流域の河川協力団体や地域づくりで活躍されている5名の方々に「自身と筑後川との関わり」について語って頂き、流域に住む人々にとって筑後川はどういう存在なのか、について意見交換を通して学びました。

【意見交換に協力頂いた方々】

上流・園田匠さん：河川協力団体「ひた水環境ネットワークセンター」理事長

中流・中島重人さん：河川協力団体「Good News」前代表（河川美化活動）

中流・川嶋睦己さん：河川協力団体「筑後川連携倶楽部」副理事長（防災落語）

中流・古賀円さん：Coppolart（コッポラート）代表、久留米絃デザイナーなど

下流・本間雄治さん：NPO法人「大川未来塾」理事（若津港などの筑後川下流域近代史発掘）



アイデア展開・提案書作成・学内選考

●令和3年3月10日（水）ロゴマーク発表会 IN 筑後川河川事務所

学生が制作したロゴマークのうち、選考された6案が発表されました。学生自らがデザインのアイデアやコンセプトなどについてプレゼンが行われ、流域住民意見交換会に参加頂いた方々や河川事務所職員と意見交換を行いました。6案について参加者による投票を行い、さらに3案を選定しました。

